

対象に応じたジオパーク講座の実践 Practice of Geopark Lecture for various participants

蓮岡 真^{1*}
HASUOKA, Makoto^{1*}

¹ 磐梯山ジオパーク協議会, ² 磐梯山噴火記念館, ³ 福島県立博物館
¹Bandaisan Geopark Council, ²Mt. Bandai Museum, ³Fukushima Museum

ジオパークは、立場により活用方法が違います。例えば、学校教育であれば、地域学習（ふるさと学習）として活用できます。地域住民であれば自分の知識を深める生涯教育（地元への愛着や誇り）に活用できます。商工観光業なら、ジオパークと結びつける関連商品の開発の足がかりや新しい視点での観光場所を知るきっかけにつながっていくでしょう。

このようにジオパークは、対象者によってその使われ方も多様です。また聞く相手のジオパークの理解度も様々です。磐梯山ジオパークでは、そうした対象者によって、それぞれの講座を展開し、実施する側も対象者と共感が図れるように取り組んでいます。これらの実践について紹介します。

キーワード: 対象に応じたジオパーク講座の実践
Keywords: Practice of Geopark Lecture for various participants